

## 2025. 10. 7 ふようスポーツフェスティバル

先週、学年ごとのスポーツフェスティバル（運動会）がありました。

スポフェスのテーマは、「思いきり体を動かして楽しもう！」。各学年子供たちの「好き」を種目に織り交ぜながら、運動遊びを楽しみました。

年長児では、競技種目・内容を子供たちと一緒に考え、当日の司会なども子供たちが行いました。大好きな紙飛行機飛ばしをする場面もありました。またチャレンジ種目では、鉄棒、ジャンプ、大縄などいろいろな運動遊びを自ら挑戦できるような機会も設けました。最後は鼓隊演奏。みんなで心を合わせながら演奏を楽しんでいました。

年中児では、親子種目で「卵からこんにちは」という種目がありました。大きな卵から子供たちが生まれ、親子で自分のなりたいものに変身し、一本橋やトンネルなどを通りながら成長していくストーリー。なりたいものも普段の好きな遊びで楽しんでいるもの。ポケモンやウルトラマンのキャラクター、サッカー選手、カブトムシやクワガタ、ダダンダンなどなりたいものはみんなそれぞれでした。それがまた面白い！最後はバルーンも楽しみました！

年少児は、大きなしっぽをつけての親子しっぽとり。義務教育学校9年生のお兄さん、お姉さんと並んだしっぽとりを思い出しながら楽しみました。年少さんも卵ブームで、自ら作った卵を運ぶ種目もありました！わっかをジャンプしたり、走ったりとスポフェスという機会を通して経験させたい動きもいろいろあります。楽しい雰囲気の中で、身体を動かすことを全力で楽しむ。そのような姿がいろいろとところで見られました！

最終日には、なかよしスポーツフェスティバルということで、縦割りのスポフェスも行いました。そこには未就園児のお友達も遊びに来ました。縦割りで綱引きや玉入れをしたり、全園児でダンスをしたり、年長の鼓隊演奏を年少中児がじっとりと聞く時間もありました。年長児の鼓隊を見ながら、手をリズムに合わせて動かす年中児。来年の自分たちの姿をイメージしているのかもしれませんが。「僕、シンバルがいい！」「私は大太鼓！」とあこがれが言葉として出てきます。

学年毎スポーツフェスティバルは1時間半ぐらいの時間で行います。学年毎なので、保護者の皆さんと一緒に楽しみ、成長を分かち合う時間にしたい。保護者の皆さんからは、「練習の段階から毎日子供が話してくれ、楽しみにしている様子が伝わっていました！」「日々の遊びの延長線にスポーツフェスティバルがあるので、こどもたちが自然と楽しんでいる姿が印象的でした！」などのご感想もいただきました。当日だけでなく、当日にいたるまでのプロセスの中で、身体を動かすことって楽しいな、こんな動きも面白そう、やってみたいな！などいろいろな期待感につながるような機会にもなったと思います。そのような時間をまたいろいろな機会大切にしていきたいです！

